

# こんにちは 庄内町議会です



No.55  
12月議会号  
30.1.20



「日本一おいしい  
米コンテスト」

配膳のお手伝い  
立川小の児童

P18 関連記事

- ◆学童保育施設新設 …………… 〈補正予算〉 2
- ◆定数と報酬を議論 …… 〈議員定数等調査  
特別委員会報告〉 4
- ◆生かせ提言 …………… 〈常任委員会報告〉 6
- ◆12人が熱く質問 …………… 〈一般質問〉 8
- ◆小学生が傍聴 …………… 〈傍聴体験談〉 16

平成29年度  
補正  
予算

# 学童施設新設

12月  
定例会

会期

12月12日(火)から  
20日(水)まで

各会計補正予算  
2件

条例制定  
2件

事件案件  
2件

計6件  
すべて原案  
どおり可決

一般質問  
12人

## 学童保育所

H29年11月末現在

施設名	学区	利用人数	開設年月
立川 さんさんクラブ	立川 小学校	58	平成17年5開設 (狩川保育園内) 平成23年10移設 (立川保健センター内)
ふれあいホーム 家根合	第一 小学校	43	平成21年10月開設 (古民家)
ふれあいホーム 払田	第二 小学校	49	平成15年10月開設 (古民家)
ふれあいホーム ひまわり	第三 小学校	62	平成16年4月開設 (余目保育園分室)
ふれあいホーム わごう	第四 小学校	18	平成27年4月開設 (小学校内)
計		230	

平成29年度一般会計補正予算は、7千307万9千円を追加するものです。主な増加要因は、ふるさと応援寄附基金積立金480万円、介護給付費・訓練等給付費3千421万円、ひまわりっ子誕生祝金130万円、若者定住促進事業助成金920万円等です。債務負担行為補正として、ふれあいホーム払田建設工事設計業務委託、平成30年度まで、547万6千円等です。

**賛成多数で可決**

### 新設までの経過

ふれあいホーム払田は、設備の老朽化や安全性、衛生面など様々な課題が生じています。そこで、庁舎内組織の学童保育所検討委員会が、余目ふれあいホーム実施組織愛康会や地域関係者の意見を参考にして、ふれあいホーム払田の整備について調査検討を行いました。結果、築100年を超えていることや個人から借り受けている施設でもあり、修繕や改築が困難であること。第二

### 議会対応

学区の他の既存施設等に現状で適正に活用できる施設は無かったと判断し、余目第二公民館内敷地に新設することとなりました。

平成25年の文教厚生常任委員会調査報告書で学童保育のあり方についてを報告しています。内容は、国・県の積極的な指導（余裕教室の活用）を受け、本町でも、学校施設を活用すべきであるとしています。そのことから、余目第四小学校では、平成27年4月から、小学校内に開設しています。10月3日、余目第二小学校、余目第二公民館の現場説明を受け、調理室が新調理場開設で空いているため、利活用できないか調査依頼しました。結果、調理室の改修には新設と同程度の経費を要するとの報告を受けました。

### 目的は

JAF公認国内常設コースをもつ東北最大級のカート場から、F1レーサーを目指す子供達を応援します。

### 内容は

スポーツカートを購入し「ジュニアスクール」や新たなイベントレース「親父レース、親子レース、企業対抗レース」などを開催し、カートへの理解を深めます。

### 台数は

ジュニアカート 3台(予定)  
スポーツカート 6台(予定)  
町が直接購入し、余目カートクラブソレイユに貸与します。

ふるさと  
応援寄附金  
基金積立金  
480万円

# 宿泊料決まる

余目第四公民館

旅館業法許可を受けるため改修工事中です

経過

余目第四公民館は、平成4年のオープン当初から、特色の一つとして入浴場も完備し、宿泊できる施設として、宿泊料を徴収せず、スポーツ等の団体宿泊を受け入れてきたところです。

しかし、より安全安心に宿泊できるよう、現在、正式に旅館業法の許可を受けるため、改修工事中であり、町議会12月定例会において、宿泊料等を規定した庄内町公民館設置及び管理条例の改正を行いました。

賛成多数で可決



改修工事中の余目第四公民館

**Q** 宿泊受入れはいつか。

**A** 平成30年4月頃からです。原則として10人以上の団体に限ります。

**Q** 10人以下の申し込みは。

**A** 10人以下の団体であっても、例えば龍神マラソン参加者は、町の

事業への参加者であり

交流人口の拡大や本町の活性化につながるこ

とから、今後検討しなければならぬ。

**Q** 宿泊料は、いくらか。

**A** 高校生以下 600円  
一般 千円  
(二人一泊当たり)

・クリーニンング代 (実費)

**Q** 夜間の管理体制は。

**A** 管理人1人で対応となり、22時以降は、就寝となります。

**Q** 工事内容は。

**A** ・防火上主要な間仕切り壁に改修

・洗面設備の増設

・寝具常備に必要な収納場所の増設

・トイレのドライ化 (床の水洗い無し)・洋式化

・照明器具関係の一部LED化 (廊下・宿泊室)

・温水ボイラーに伴う機能強化



第1回月山龍神マラソン

# 報酬

# 2万5千円増額

24万円は県内町村議会の平均

## 議員定数等

## 調査特別委員会 報告



委員長 小林 清悟  
副委員長 石川 武利

### ■調査の目的

本委員会は、議会の活性化を図るため、庄内町議会にふさわしい議員定数等を調査研究する。

### ■調査項目

- (1) 議員定数
- (2) 報酬
- (3) 期末手当
- (4) 費用弁償
- (5) 委員会費用
- (6) 政務活動費

### ■調査期間

平成29年3月に設置し、11月までの8カ月間に11回の委員会を開催した。

### ■町民と語る会の開催

議員定数等に対する町民の意見を聴く機会として、7月と10月に町民と語る会を余目地域と立川地域で開催した。

委員会では、意見や

要望のなかで特に多かった議員定数や報酬について再度調査を行った。

### ■まとめ

町民の声のなかには「現在、議員1人欠員しているが、議会運営に支障がないように見える。議員定数を削減できないか」という声

があるが、議会運営に支障がないように議会の総合力で対応している。本町議会は、県内の他の町村議会とは異なり、2町が合併した議会である。町も広範囲で地域性があることから、住民の声に対応するためにも議員定数を削減することは好ましくない等の意見が出

された。

以上の議論を踏まえ、定数は「現状維持」が7人と「1人減の15人にすべき」が6人となったため、現状維持と賛成多数で決定した。

### ■議員報酬

保留になっている4年前の提案に対し、議会としての検証が必

要、財政指数等の調査不足などの理由により、現状維持（1人）の意見がだされた。

一方、議員のなり手不足の理由は「報酬が低いから」「町の公営選挙では選挙運動の必要経費が個人負担」「市議会議員の立候補者が多い理由に報酬が高い



要請書を提出

# 定数

# 現状の16人

## 議員定数と報酬の推移

選挙年	議員定数	議員報酬	備考
平成17年	36人 余目20人 立川16人	215,000円	合併在任特例により 1年限り
平成18年	20人	215,000円	16人削減
平成22年	18人	215,000円	2人削減
平成26年	16人	215,000円	2人削減

こと」「議員の年間活動日数は県内トップ」などの理由により増額すべきであるが12人であった。

さらに議論を重ね具体的な額は、24万円にすべきが6人、26万5千円にすべきが6人と同数になり、委員長が決するところにより、月額24万円に増額すべきと決定した。

**議長・副議長報酬**  
議員報酬額の増額率に合わせ、増額すべきと賛成多数で決定した。

**他の調査事項の結論**  
●委員長・副委員長報酬は、必要ないと賛成全員で決定した。  
●期末手当、費用弁償、委員会費用は、現状維持が適正であると賛成全員で決定した。

●政務活動費は、これまでどおり実施しないと賛成全員で決定した。

**報酬増額の財源**  
報酬増額の財源は、前回4年前に報酬増額のため議員を2人削減したが、その後、特別職報酬等審議会が開催されることなく、結論がでないまま保留の状態になっていた。

その議会が自ら身を切って対応した議員2人の削減分を、今回の報酬増額の財源と考える。

県では、特別職の報酬の見直しを図る動きがあり、本町でも合併して10年以上が経過したことから、議員の報酬だけでなく、すべての特別職の報酬を精査し、特別職報酬等審議会を開催すべきである。

## 町民と語る会での意見要望(抜粋)

### 7月10日開催

報酬が少ないと

思う理由は

●若手議員が育つようにすべきである。

●なり手がいないので報酬を上げるべきである。

●多くの人が立候補できる環境が欲しい。

●競争があるとよい。

●その他の意見

●報酬アップは理解するが、定数は削減すべきである。

●人口は高畠町と同規模だが報酬に大きな差があるのはなぜか。

●活動日数が多いことは良いことなのか、仕事で非効率な部分はないのか。

### 10月14日開催

中間報告を

受けての意見

●他町では本町より少ない定数で議会運営がされている。1人減

らすべき。一方、報酬は職業としてなり立つよう28万円以上でも良いのではないかと。

●議員活動が見えてないから、町民と語る会への参加者不足や報酬アップの理解が得られないのではないかと。

●1万円程度の報酬アップなら理解できる。

●地域の賃金上げ幅に連動した報酬アップであれば理解できる。現在議員1人欠員であり、1人削減しての2万5千円アップなら理解できる。

●報酬アップの財源は定数減にこだわらず必要な予算として確保すべきである。

●2万5千円のアップで議員のなり手不足が解消されるのか。

生かせ提言

総務文教厚生  
常任委員会

# 役場本庁舎建設 分離発注せよ

## 分離発注+特定JV※で地元経済活性化を

役場本庁舎の工事発注は、透明性・客観性・競争性の確保が原則である。加えてコストの縮減と品質の確保が重要であり、地元業者の受注機会を確保することで、地元経済の活性化に寄与することを目的に調査した。

### 新庁舎建設の概算事業費

平成29年6月に、これまで示してきた基本計画段階の概算事業費27億7千500万円から、別途追加工事分と、物価上昇分とし、合計3億5千10万円が増額され、31億2千510万円になった。また、9月定例会の補正予算で、工事機材搬入のためアクセス道路と駐車場整備工事の土地購入費等として7千602万円を可決している。この事業の完成には約1億4千832万円の費用を要する

ことから、概算総事業費で32億7千342万円となる。

### 次のように

#### 提言しました

#### ●入札監視委員会の設置

この一大事業において透明性・客観性・競争性を確保するため早急に設置すべきである。

#### ●総合評価落札方式

入札価格だけでなく、入札参加者が保有する技術力、地域精進度、地域貢献度を総合的に評価することで、価格と品質に優れた調



50年に一度の大事業

達を図ることと、地元業者の競争力確保のため採用すべきである。

#### ●職員を増員配置

分離発注すること、分離発注すること、工種間、業者間の綿密な調整が必要になる。施工として事業全体を理解し深く関わるために、専門の課を設置し、現在の2人体制

に建築士等を増員配置すべきである。

#### ●分離発注

地元業者の参入機会を拡大することで、元受けや下請け工事の資材調達などの直接関与する業種だけでなく、間接的な関与が期待できる様々な分野の業種にまで、その効果を波

及させるために分離発注すべきである。

#### ●特定JV

建築、電気、機械の工事について安定的施工を確保するために、複数の企業体で技術力を結集し、地元企業の受注機会を確保するため一定の地域要件を設定した特定JVのみの入札にすべきである。

#### ●32億7千342万円を上限

後の事業費の増額は、事業に対する町民の不信感につながる。物価スライドや分離発注に伴う経費比率の変更は別として、現在の概算総事業費を上限とすべきである。

※特定JV 建設工事共同企業体

# 起業家、創業者の 増加図れ

## ワンストップでの相談を可能に

地方が抱える人口減少や、若者流出対策として、起業・創業の動きが全国的に活発化している。  
しかし、資金調達、補助金の申請など高いハードルがあり、起業・創業に結びついていないため調査した。

### 支援事業の現況

現在、庄内町が行っている支援メニューとして「庄内町起業家応援補助金」があるが、平成26年度から3年間の利用実績は7件であり金融機関独自の起業創業メニューの利用実績は4件となっている。この4件のなかには、町のメニューを利用できる可能性があったことから、情報共有のあり方が指摘されている。

### 次のように

### 提言しました

### 町・商工会、金融機関の連携

現在の支援メニューは、あまり利用されていない。

起業・創業は商工業の活性化、雇用の増加に繋がる。先進事例にあるように、町、商工会、金融機関が連携して、申請書類の簡素化などと、分かりやすい内容での周知徹底をすべきである。

### 人材育成交流を図る

視察先では金融機関と行政が人材育成交流

を行っている。

お互いの役割、仕事の内容を知り習得することによって、ワンストップでの相談が可能になり、利用者にとっても利便性が向上していた。

町と商工会、金融機関のトップ同士で話し合いの場を持つなど、将来的な実現に向けて調整、協議を行うべきである。

### 行政の主導的役割

官民一体の取り組みについては、各金融機関とも有効性を認めており、使いやすい支援メニューになれば連携が深まる。

行政が主導的役割を果たしながら、情報共有の仕組みづくりを推進すべきである。

### 創業セミナー・塾

県は「やまがたチャレンジ創業応援事業」

として、創業セミナー・塾を実施しているが庄内町からは参加者がいなかったことは、起業・創業が少ないことの理由とも考えられる。

庄内町でも、平成30年1月から創業塾開催が予定されているが、次年度以降も継続して開催すべきである。

### 創業支援事業計画

「産業競争力強化法に基づく認定を受けた市町村別の創業支援事業計画」が策定されているにも関わらず、地元金融機関への周知が徹底されていない。総合的な支援体制を早期に整えるべきである。



創業者の思いを聞く

# 正 庄内町総合表彰式 庄内町新春を祝う会



日頃の御労苦に感謝を込めて

庄内町総合表彰式

## 町政を問う 一般質問

12月14、15、18日、12人の議員が18項目について質問しました。質問時間は答弁を含め1時間以内とし、町当局に対して行政全般にわたる執行状況・将来方針などを質し、政策提言をしました。

### 質問全項目

●印を掲載しています。全内容は議会ホームページで公開しています。

● 国分浩実 議員	● Jアラート発令時の対応について	P 9 上
● 小林清悟 議員	● 今後の財政運営について	P 9 下
● 鎌田準一 議員	● クラッセ周辺の整備について	P 10 上
● 上野幸美 議員	● 地域おこし協力隊について	P 10 下
● 澁谷勇悦 議員	● 財産管理の周知徹底について	P 11 上
○ 交通安全関係団体等への支援について		
五十嵐啓一 議員	● 新庁舎建設事業について	P 11 下
○ 冬季間の小中学校の登下校時の安全確保について		
齋藤秀紀 議員	● 推肥生産センターについて	P 12 上
○ 本庁舎整備について		
● 押切のり子 議員	● 地域福祉と町営バスの運行について	P 12 下
● 石川武利 議員	● 障がい者への生活介護支援について	P 13 上
● 工藤範子 議員	● 役場庁舎建設に係る工事監理業務と監査について	P 13 下
○ 介護保険制度について		
○ 国民健康保険について		
齋藤健一 議員	● 民間による風力発電設置計画について	P 14 上
○ 国民健康保険税(料)について		
小野一晴 議員	● 一般職非常勤職員の労働条件について	P 14 下

会議録、録画映像は庄内町議会ホームページで見ることができます。



**教育長** 教育課と学校の学校生活をさせることとした。各家庭へのメール配信はしなかったが、今後検討したい。その後、教育委員会か

**問** 9月15日、午前6時58分頃に2度目のJアラートが発令された。学校に遠い地域の子ども達は登校のため、自宅を出る。保護者のなかでは登校させるか否かであり迷ったと聞いている。早朝であったが、当時の町としての対応はどうだったのか。



國分 浩実 議員

※Jアラート 発令

町  
の  
指  
針  
を  
示  
せ  
今  
後  
検  
討  
し  
た  
い

サイル落下時の  
難行動  
速な情報収集

サイル落下時の対応は、Jアラートを活用して、防災行にメッセージを流すほか、緊急速報を流す。

できる限り頑丈な建物や地下街などに避難する。

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、日差しを遮る。

子どもたちにはわかりにくい 町HPより

**問** 通学途中では無いエリアも多い。子ども達の緊急時の判断能力を育成する必要性があると考えますが、学校での今後の対応はどうか。

**教育長** 訓練の実施は子どもたちを怖がらせないため、慎重に考えている。これから学校と相談していく訓練も大事だが、日頃の子どもたちの体験、外の遊び、登下校の歩き等のなかで危険を回避するなどの対応力も育んでいきたい。

本町では例えば響ホールは音響が良く、評判のいい施設で、モニメント的な施設でもあり可能性があると思うが、どうか。

**問** 本町の財政状況を増して行くことが予測される。自主財源の確保として、施設に会社名などを付けることができる命名権を販売するネーミングライツ契約を、本町でも導入できないか。県内では山形県民会館が有名で、命名権の契約料はこども館と合わせ年間一千万円と聞いている。



小林 清悟 議員

命名権

有効に販売せよ  
平成30年度に向けて考えたい



命名権、可能性があるのでは 響ホール

**町長** 地域高規格道路、余目酒田道路が今年度中に完成する状況において、響ホールは非常にインパクトのある場所にあると思う。

金額は別として、町の数施設は十二分にネーミングライツの可能性があると考えている。平成30年度に向けて広報の広告を含めて広告料収入を組み立てていきたいと考えている。

## クラッセ 周辺

### 整備進めよ

**町長** 検討時期と考えている



鎌田 準一 議員

#### 問

ひまわり広場  
駐車場は、金曜  
日の夜、土日祝日のJR  
や高速バス利用者等で  
満杯である。このため  
新産業創造館使用者が  
素通りするケースが増  
えている。

この駐車場整備の経  
緯・目的は何か。

#### 町長

JR利用者の増  
加を図ることで  
駅周辺の賑わいを創出  
させるため、公共交通  
網へのアクセスの利便  
性を目的として、駐車  
場と駐輪場を整備した。  
隣接する倉庫  
北側には道路公  
通法上の道路があり、



週末はいっぱい ひまわり広場駐車場

#### 町長

当初のJR利用  
の他、高速バス  
利用者も増えている。

居住者と共有している。  
町道でないため所有者  
が自主的に除雪を行っ  
ている。駐車スペース  
確保と住民の長年の不  
安解消のため更なる周  
辺整備を進めるべきで  
ないか。

新たな駐車場の確保を  
考えなければいけない  
時期と考えている。  
クラッセや駅前整備  
により周辺の環境も変  
化した。住民の利益を  
最優先に考え、道路の  
所有者と協議し、有効  
な対策を調査、検討し  
たい。

## 地域おこし 協力隊

### 任務を明確にせよ

**町長** 詳細な募集要項にした



上野 幸美 議員

#### 問

4人が就任し今  
後2人を予定している。  
小さな拠点への隊員募  
集の要項は、これまで  
とどう違うのか。今後  
は、北月山荘の運営や  
いわな養殖事業等への  
人員投入をポイントに  
募集してはどうか。

#### 町長

具体的な仕事  
の内容、地域に  
どんな効果をもたらす  
かについて、到達目標  
活動内容をできるだけ  
詳細な募集要項とした。  
一方、協力隊の自主的  
なアイデア、自発的行  
動も併せて中身を強調  
した。そのバランスを

とっていく必要がある。

#### 問

小さな拠点で  
の活動時の隊員  
へのサポート状況は立  
谷沢地域ではどうなっ  
ているのか。

#### 町長

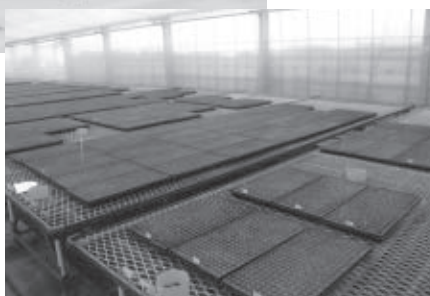
立谷沢地区振  
興会を地域の組  
織とし、共同利用加工  
場の利用者を組織化し  
話し合いを進めている。

#### 問

9月から就任  
の農業分野への  
隊員は、農業未経験者  
である。当初予定の強

#### 町長

アドバイザー  
という形ではな  
く、実際農業に携わる  
法人の農業者や農業士  
等から指導、協力をい  
ただき指導体制をとっ  
ている。



花き栽培研修  
スタート  
種苗センター（南野）

※地域おこし協力隊 都市部から過疎地へ一定期間移住し地域の活性化に取り組んでもらう人を自治体が募集する。  
※小さな拠点 立谷沢地区の克雪センターを改修し、移住者のおためし住居や加工商品開発等に取り組む施設。

## 財産 適正管理

義務であることを徹底せよ

町長 広報に掲載し周知啓発を図る



澁谷 勇悦 議員

問 空家の発生や、他人の迷惑となる

る。特に空き家、空き地の増加に対処するため、平成29年、庄内町空家等対策計画を策定した。この計画の基本方針の第一番目に、「空き家等の適切な管理の促進」を位置づけている。今年度、空き家等対策の情報をまとめた

る。特に空き家、空き地の増加に対処するため、平成29年、庄内町空家等対策計画を策定した。この計画の基本方針の第一番目に、「空き家等の適切な管理の促進」を位置づけている。今年度、空き家等

総合リーフレットを作成し、町内施設に配置している。また、広報に空き家相談会や老朽危険空家解体補助事業の情報を掲載し、適正管理の周知と啓発を図っている。

町長 建設課、保健福祉課を中心に周知、対策を行っている



こうなる前に

## 本庁舎 建設費

当初予算内に収めるべき

町長 基本的にそのように考えている



五十嵐啓一 議員

問 本庁舎建設事業も実施設計が最終段階に入った。事業費は、現在示されている予算内に収めることを前提に実施設計を進めるべきではないか

れると思うが、車庫棟も含め複数の充電設備の設置が必要ではないか。

問 西庁舎北側の雑木林は、所有者と協議し環境整備を図るべきではないか。

町長 地元産材や入札方法によっては増額となることも議会に理解いただいている。基本的には、できるだけ増額しないという方向で、いろいろな状況を想定し、節約できるところは節約し、経費を抑えた庁舎建設を考えている。



普及を見越して

## 生ゴミ分別

### 方策を立てて継続せよ

**町長** 良い方向を模索している



齋藤 秀紀 議員

**問** 6月の定例会で生ごみの質問

の際、堆肥センターは30年経過し、老朽化していることから「今後の運営方針を検討会議で早めに出したい」と回答している。結果はどうか。

**町長** 堆肥をどのよう

に確保するかが喫緊の課題である。高くなった堆肥でよければ生産の継続は可能だが、あくまで利用者いわゆる堆肥を使う人の判断が必要。現在は農協や堆肥の利用者の考え方を聞いて調整を図っている。

**問**

生ごみの分別は、長年にわたり、町民の協力があって今回に至っている。今回の故障は、対処すべき策をしてこなかった行政に責任があり、環境にやさしい町づくりを今後、どう取り組んで行くのか。

**町長**

生ごみ分別は町として先取りしてきた。今後どうするかは、みんなで知恵を絞り、抱えている課題を解決していくことが重要。より良い方向を模索しているということを理解願う。



家庭からエコライフへの第一歩

## 高齢者移動手段

### 再検討すべき

**町長** 運行のあり方検討したい



押切のり子 議員

**問**

高齢者介護予防の居場所づくりとして、民間に事業委託をし、地域福祉の充実に務めている。しかし、利用者は循環バスとの連携が図れないため、拡大につながっていない。

**町長** 高齢者の移動手段として

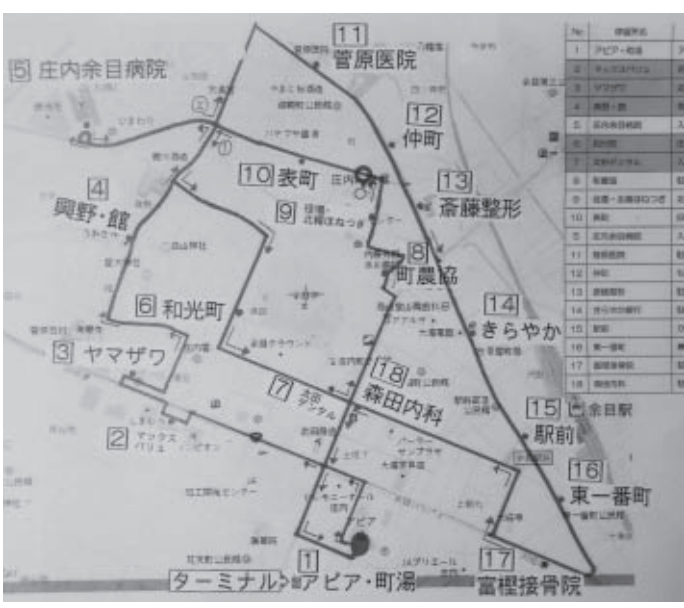
利用者が拡大しているデマンドタクシーへの変更を検討してはどうか。平成29年10月から中心市街地循環線を開始している。既存の幹線路線、四つある循環路線を見直す計画もある。デマ

**問**

各種イベントや多くの事業が実施される地区公民館への停留所がないのは何故か。町民の利用拡大に向けて、再検討すべきである。

**町長**

今年度、各集落に現在の停留所の場所に不都合が無いか調査した。しかし、イベント時の公民館停留は確認していない。今後の循環路線の見直し等を含めて検討したい。



地区公民館になぜ停まらない

**障がい者生活  
介護サービス**

**支援の充実を図れ**

**町長**

**状況を見ながら判断する**



石川 武利 議員

**問**

本町には、障がい者手帳所持者が1千395人いる。常時介護支援が必要な人は、生活能力向上を望んでいる。その受け入れは町内に1事業所しかなく、ほとんどが町外施設を利用している。保護者、障がい者自身の高齢化に伴い、生活介護サービスが望まれているが実態はどうか。

**町長**

障がい者総合支援法に基づく障がい福祉サービスを利用されている方は174人。そのうち生活介護サービスを受けている



みんな笑顔ですごしたい

**問**

生活介護サービス事業所への支援はどうか。

**町長**

実施施設への支援は、厚生労働省の定めに基づき、

**問**

障がい者支援（既存施設）はどうか。

**町長**

障がい者多機能型施設で生活介護事業を行うことは面積要件や人員要件の基準等により難しい。

方が49人いる。平成29年4月に生活介護サービス提供事業所が1カ所開設され、町内の方は3人利用している。事業所の状況を見ながら判断する。

**新庁舎建設  
工事監査**

**あらたに実施せよ**

**監査委員**

**今後検討したい**



工藤 範子 議員

**問**

平成30年度の新庁舎建設には万全な体制で望むべきである。町は数多くの施設を建設したが、工事監査は実施されていない。

「町湯」工事では隣家への迷惑施工「ほたるドーム」の施工の不具合、近隣市では文化施設でトラブルがあった。技術的な調査は、専門的知識のある技術士を監査委員の補助者として活用を図り、工事監査を実施すべきでないか。28年度は、山形市、東根市で実施している。

**監査委員**

基本的に定期監査で工事内容も監査したいと考えている。定期監査の中で難しいければ工事監査も検討する。工事監査の手法として、私は施工管理技士の資格を持っているので、それに基づき、できる限りの範囲で工事の内容を監査

したい。

庁舎整備は30億円以上の大きな工事である。技術的に工事監査が無理となれば、民間の専門家のいる組織に監査を依頼することも考えられる。工事監査を行う場合の手法は今後検討したい。



町民の関心は高い 町民と語る会

## 風力発電事業

### 計画は進んでいるのか

町長 計画にそって進めている



齋藤 健一 議員

問

風力発電は庄内町の観光のメインである、民間で進めている設置計画は、入込客数拡大など大いに期待され、町も積極的に支援すべきである。風車村付近にソフトバンクエナジー社による2千kW1基の計画はどうか。

町長

平成28年度業者が行った騒音調査の結果、環境省の指針を満たしていなかったため再度調査している状況である。

問

道の駅（風車市場）付近に6基設置されている。

去予定と新たな計画はどうか。

町長

撤去された2基の跡地に2千500kWの風車建設が予定されており、来年度の稼働を予定している。残りの既存風車は順次撤去する計画で、撤去後については検討中。関係者で協議をすると聞いている。

問

庄内町農山漁村再生エネルギー



シンボルとしてさらなる展開

基本計画で、狩川字大堰台などに2千kW12基の計画はどうか。

町長

3社が整備を計画しており、平成33年度の稼働を目指し事業を進めている。沢新田内の計画はどうか。

問

平成31年度の稼働を目指して風車を製作中という状況である。

町長

平成31年度の稼働を目指して風車を製作中という状況である。

## 非常勤職員制度

### 修正動議提出を通告する

町長 制度は理解している



小野 一晴 議員

問

保育園の保育士と看護師の平成29年度の追加募集はどうか。

町長

追加募集の応募者はいない。平成30年度分は報酬を上げて募集している。

問

町が制度改制の根拠とした裁判事例を調べたが確認できなかった。本当にあったのか。

町長

枚方市の事例で「手当を支払わなければならない。支払うことが適法である。」とする判例である。

問

枚方は別の判例だ。平成29年度の予算で修正動議を可決した際、町は時間がないとして従わなかった。新年度予算でも非常勤職員の勤務条件が改善しなかった場合は、また修正動議を提出することを今から通告する。今度

町長

は時間がないとは言わない。対応を期待する。制度は議員に理解いただいていると考える。その制度のなかに課題があればしっかりと見直し、将来に向けて調整を図っていくことが大事である。



来年度予算はどうする

29年3月議会号

# がんばれ 庄総生

議員がチヨットアドバイス  
キャリア教育  
中間発表会



庄総生は地域のパワー

庄内総合高校ではキャリア教育の一環として「ふるさと探求」をテーマに卒業研究発表を行っていきます。11月15日にはその中間発表が行われました。

議員は、生徒たちが事前に町や商店、企業を訪問し、それぞれの課題を調査し、まとめたものに少しだけアドバイスをしました。福祉や空き店舗、人口減少問題や自分の将来の課題など幅広く考える庄総生にエールを送りたいと思います。平成30年1月24日は最終発表が行われます。期待し参観します。

## 要約筆記

「ぼんけの会」

本町議会は独自の活動として、以前から要約筆記を導入しています。12月定例会では15日に実施しました。

当日は、余目第二小学校の6年生の皆さんが議会傍聴に訪れ、大型モニターに映し出される文字に興味を示していました。

- 要約筆記ぼんけの会  
菊池みつ子さん(代表)  
菅原千佳さん  
齋藤志保子さん  
佐藤薫さん
- 要約筆記の会やまびこ  
柿崎明子さん(代表)  
日下部恵子さん



## 傍聴アンケート

12月定例会に立川小学校、余目第二小学校の皆さんが傍聴に来てくれました。

一般傍聴者と児童たちの率直なアンケート結果です。議会傍聴に来て良かったと思いますか。

はい.....60人  
無回答.....0人

- その理由は
- ・勉強になった。48人
- ・面白かった。9人
- ・緊張感があった。29人
- ・議会が頑張っていることがわかった。26人
- ・町の動きがわかった。23人

(複数回答)  
議会のやり取りはわかりましたか。

はい.....45人  
いいえ.....15人

- いいえの方の理由
- ・行政用語がわからない。11人
- ・質問の趣旨がわからない。2人
- ・声が聞き取りにくい。2人

立川小学校、余目第二小学校の児童の議会傍聴感想文は、次ページに掲載されています。

### ■ 議会インターネット映像配信へのアクセス

● 新システム 平成26年11月4日～ (単位:件)

年度	訪問数	サイト内閲覧件数
平成26年度	1,798	6,994
平成27年度	3,391	10,621
平成28年度	3,536	9,152
計	8,725	26,767

● 旧システム ～平成26年11月4日 (単位:件)

年度	生中継映像	録画映像	計
平成21年度	3,605	51,006	54,611
平成22年度	3,691	39,956	43,647
平成23年度	3,719	47,978	51,697
平成24年度	4,641	43,486	48,127
平成25年度	4,656	63,293	67,949
平成26年度	2,216	36,029	38,245
計	22,528	281,748	304,276

※平成20年3月定例会(平成20年3月4日開会)から本会議、予算・決算特別委員会の映像配信を開始。  
 ※平成23年度は、1月1日～3月11日まで、機器の不具合によりアクセス数が不明。  
 ※平成26年11月4日から中継システムが更新されたことにより、アクセス数のカウント方法が変更された。

# 子どもたちの 傍聴体験談

12月14日立川小学校6年生(30人)、翌15日余目第二小学校6年生(29人)のみなさんが傍聴した感想を寄せていただきありがとうございました。

内容は抜粋させていただきました。

## 立川小学校



真剣なまなざし

太田 颯さん

細かい所まで、会議  
していて本当に町のこ  
とを考えているんだ。

小柳 さくらさん

カメラを持っていて  
人がいないのに画面が  
出て、不思議だった。

富樫 美優さん

Jアラートが鳴った  
時はじっとしていた。  
これからはどうするの  
かを意識したい。

齋藤 里菜さん

議長が指名すること、  
時間制限(60分)があ  
ることが分かった。

海藤 匠さん

町民がどうすれば安  
全かを考えてくれてい  
るのが分かった。

齋藤 陽太さん

たくさん話している  
のに、ぜんぜんッかま  
ずッすごかった。

阿部 一步さん

Jアラートの時、ど  
うするのかの真剣な話  
し合いが伝わった。

齋藤 蒼空さん

Jアラートの時、建  
物にかくれるなどの話  
しがよくわかった。

阿曾 真空さん

まじかで見るとみん  
な真剣で、熱意が伝  
わってきてすごい。

松浦 翼さん

イスや机は円形でな  
く、V字型でびっくり  
した。

池田 優希さん

常に緊張した会議で、  
祖父も教育長として昔  
発言していたと思うと、  
すごい。

大川 蓮夏さん

内容は難しい所も  
あったけど、わかって  
よかった。

奥山 巨大さん

学校の安全のためな  
どを話し合っている  
ということが分かった。

門脇 惇希さん

町や学校の安全など  
をいつも守ってくれて  
いるんだ。

海藤 蘭丸さん

町を良くするために  
議会をひらいて話をす  
るのかと、わかりまし  
た。

西村 大和さん

議場が立派でえらそ  
うな方がたくさん。話  
しは少しわかった。

阿部 愛加さん

難しい言葉があった。  
ちゃんと調べて理解で  
きるようになりたい。

佐藤 剣太郎さん

議員は、かげでぼく  
たちのことを考えてく  
れていてうれしかった。

富樫 萌さん

だれもカメラを持っ  
ていないのにテレビに  
映りビックリした。

齋藤 秀斗さん

今の問題や、60分と  
時間がかぎられている  
ことが分かった。

太田 陽日樹さん

国分議員の説明のし  
かたが、とてもわかり  
やすかった。

名和 史雄さん

全世界で議会の様子  
が見られるのはすごい。

真田 知尚さん

Jアラートを、わか  
りやすく話し合っ  
てよかった。

大滝 天空さん

議場にテレビがあり  
その場所がうつつい  
てビックリした。

原田 侑斗さん

一番のびっくりは、  
ネットで議会が見れる  
こと。家で見てみます。

齋藤 友河さん

ぼくたちが安全に生  
活できるのは、みなさ  
んのおかげと思つた。

黒沼 陽太さん

すごい話し合い。授  
業での話し合いが、こ  
こで役立つと分かった。

鶴巻 莉乃さん

いつも学校などで見  
かける人たちも、議会  
に出ていてすごい。

本間 和真さん

知っている議員が緊  
張している様子でびっ  
くりした。

清野 凜さん

Jアラートの事は分  
かったけれど政治用語  
が出て難しかった。



# 真剣 緊張 驚き

## 余目第二小学校

石垣 耕徳さん  
議会には、いろいろな役割の人がいて、小学校と同じだと思いましたが、驚きました。

戌爪 桐翔さん  
どのような話し合いが行われているかが見られ、いい経験となりました。

大場 堅斗さん  
議員と町は、意見や質問を沢山言っていてすごい。

大山 速人さん  
議員とは、小中学生のことを考えてくれるんだ。

齋藤 光佑さん  
町の将来について、大切な話し合いを真剣にしていた。

佐々木 蒼さん  
一人60分という長い時間を使って質問していることがわかった。

佐藤 朋樹さん  
話し合いの内容がスクリーンに映し出され、とても見やすかった。

佐藤 大翔さん  
だけれど、どのように話し合いを進めているのかがわかった。

佐藤 利輝さん  
緊張感があり、町の将来のために真剣に考えていた。

富樫 虹汰さん  
勉強になったし、議会は緊張感があつてすごい。

永島 祐輝さん  
議場に入るのは多分一度きりなので、しっかり話を聞いた。

長谷部 聡明さん  
議員の議会で休けるの時の気持ちの切りかえがすごい。

樋渡 真翔さん  
小中学生の登下校のことまで話し合っていることがわかった。

福田 真良さん  
小中学生の安全や建設事業も話し合いをしていて、すごい。

丸山 潤多さん  
自分たちの見えないところで、子どもたちを守っているんだ。

若松 楚良さん  
学校のことなどいろいろなことを話し合っていた。

渡部 航大さん  
一人一人の発言の時間が長く、とても緊張感があつた。

渡部 巧夢さん  
登下校の様子も話し合い、議員の質問にたくさんの人が答えていた。

阿部 咲楽さん  
将来に向かいよい町をつくるためにも、議会は必要だ。

阿部 清凜さん  
大勢の人がいて、議員は質問席に移って意見を述べていた。

井上 春香さん  
約40人ほどの人たちが話し合っていることがわかった。

遠藤 未来さん  
自分にも役に立ちそうな話し合いで、しっかりと聞くことができた。

上林 恋捺さん  
きちんと私たちのことを考えて話し合っていることがわかった。

熊谷 幸瑠さん  
よりよい町になるように一人一人が自分の意見を持っていった。

齋藤 碧さん  
議員が真剣に話を聞き、話したりしていてすごい。

齋藤 りいなさん  
話し合いの様子が、意外と小学校でやっているのに似ていて驚いた。

佐藤 千綾さん  
調べてみたいこと(議会の役割など)がわかってよかった。

佐藤 陽菜多さん  
発言する時に「はい、議長」と言いながら手を上げて発言していた。

渡邊 陽花理さん  
町民の幸せのために質問し、納得し、話し合いを進めていて議員はすごい。



チョット緊張しながら

# 生声ひろば

日本一おいしい  
米コンテスト

立川小の  
みなさん



みんな頑張りました

平成29年12月2日に、第11回日本一おいしい米コンテストが行われました。  
審査員への配膳を立川小学校の児童の皆さんが担当しました。最初は緊張した面持ちでしたが、2回目、3回目となるのだんだんと慣れてきたようでした。町長をはじめ、町内外から参加された審査員の皆さんからは、「子供たちの配膳姿がかわいい」「男の子も楽しそう」といった声が聞かれ、大変好評でした。つや姫レディも審査員として参加しましたが、とてもきれいな姿に、女の子たちの目がキラ



キラ輝いていました。最後は全員登壇して司会の方からの質問にも元気いっぱい回答していました。  
午後からは、さくらんぼテレビの生中継も行われ、テレビに映った児童たちもいたようで、大変思い出に残ったのではないのでしょうか。



つや姫レディーも試食



## 地域課題解決のために

議長 吉宮 茂

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、気持ちも新たに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

議会では、議会活動を向上させるため、議会基本条例をもとに各常任委員会による政策提言・検証、「町民と語る会」をはじめ、各種団体との広聴、広報活動を実施してまいりました。

おかげさまで、昨年は土地改良区、JA、商工会などの皆さま方との意見交換会、合同会議の機会を得て、用排水事業、商工業の振興、空き家対策、そして平成30年産以降の水田活用の直接支払い金交付金問題など、庄内町の抱える課題の把握と解決方策を共有することが出来たと思っております。

今後とも、私たちは地方分権化のもと、次のことを理想とする議会、議員像として活動してまいりたいと思っております。

1. 民主的自治制度において、すべての根幹であることを認識し、真摯に努力します。

2. 地域のなかで、多様化する住民の意思を反映させ、討論を通じて、町の統一的意思にまで高めることが出来るのは、議会だけという信念に立って、議会活動を展開します。

3. 世の動きが早すぎるなかで、先例や慣行にとらわれない、新たな試みを打ち出せるチャレンジ精神を堅持してまいります。

早いもので庄内町合併14年を迎えます。町民の皆さまの負託に応えられるよう、一人ひとりが職責を自覚し「議員」活動に邁進してまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

発行人 議長 吉宮 茂

議会広報常任委員会

- 委員長 五十嵐 啓一
- 副委員長 齋藤 秀紀
- 委員 上野 幸美
- 委員 澁谷 勇悦
- 委員 鎌田 準一
- 委員 國分 浩実